

《別紙》

1. 開催年月日 令和6年7月22日(水)開催  
2. 開催場所 エフエム西東京 1階 会議室 (東京都西東京市芝久保町5-8-2)  
3. 出席委員  
委員総数 6名  
出席委員 4名 下川隆委員長 小松真弓委員  
賀陽智之委員 村田志保委員  
欠席委員 2名 鈴木恒委員 山本恒安委員

放送事業者側回答者

佐藤芳幸(代表取締役) 大塚誠(統括部長 局長) 青木崇(制作室ディレクター)

4. 議題

審議番組: “わいわいクルー’s内 レポートコーナーについて”

- ・6月2日 西東京商工まつり レポーター ソノタ
- ・6月9日 狭山スキー場ウォーターフェス レポーター 小山千春
- ・6月16日 西東京ビューティーフェス レポーター 土屋順平

5. 議事の概要

あらかじめ送付した番組を録音した音声を聴いていただき審議。

6. 審議内容

審議委員意見

- ・商工まつり、レポーターが棒読みや言葉に詰まったり間違えたりする事に対して気になったので中継をもう少し楽しそうに伝えてもらいたい。
- ・同じことを何度も繰り返していたのでレポートに慣れていない印象に感じた。事前に聞きに来ていただいたら商工会まつり担当より情報はお伝えするので予習をしてほしい。
- ・狭山スキー場はオフシーズン何をやっているか知らなかったが、スライダーが何本もあることや、体験の声も臨場感があり楽しそうに感じた。レポーターの方もリラックスして伝えてる様子が伝わった。良い情報がもらえてよかった。ただ学生のノリがあるかなと思った。体験は悲鳴があり聞きづらく感じた。
- ・ビューティーフェスは目的をもう少しまとめて伝えていただきたかった。出展者ともう少し話をし、どの部分を伝えてほしい等のすり合わせをしていただきたかった、その方がお互いのためになるのではないかと感じた。リハーサルがない状態で出展されている方へのインタビューは盛り上げるのが大変だったのでは。とても頑張ってるのが伝わった。インタビュー形式で聞こえなくはないがインタビューされている方の声が小さく聞こえた。個性が強そうな雰囲気が伝わり敷居が高そうな感じがしたが、実際マッサージを体験をされていたりレポートより雰囲気が和やかになった様に感じ、調べるきっかけになった。
- ・商工まつり、外の放送だが音はクリアに聞き取れた。会場の説明も一生懸命さが伝わるが、体験ブースがたくさんあるではなく具体的に何店以上出店している等大体の数字でいいので説明するとリスナーに具体的に伝わるかと思う。最後の方で数字を伝えてるが、最初に伝えた方がリスナーに伝わりやすいと思う。
- ・狭山スキー場、説明がテキパキしており聞きやすい。夏もイベントがあることを知らない人にとって、とても参考になる。300mのエスカレーターを登っての220mロングスライダーの説明など、具体的でよかった。実際にスライダーに乗りレポートは臨場感があり楽しい様子が伝わり、キッチンカーの出店情報もあり、所々に営業時間の案内もありメリハリがありよかった。実際に来場している親子の声やリスナーからのメッセージの読み上げで楽しい雰囲気が伝わり行ってみたいと思える内容だった。
- ・ビューティーフェス、コール田無の説明が総持寺と田無神社の間という縁起の良い場所という説明がとても素敵で地元市民もなるほどと思えた。現場レポートより足つぽマッサージ以降現場の音が大きくなったり小さくなったりするのが気になった。店舗を説明している際に「オンサ」という物の説明していただかないと伝わらないと思った。「オンサ」を知っている人には伝わるが、知らない人にはどのような楽器なのか説明があれば丁寧だと思う。

- ・ 占い師のメイロちゃんの服の説明について、占い師なので服のイメージはつくが質問と答えだけだとどのような服なのかが伝わらなかった。もう少し説明が具体的であった方がリスナーにはイメージが付きやすいと思う。
- ・ 運気の上がるイベントと最後に言っていたが、具体的にどのようなコンセプトの店舗がどの位出店しているのか説明が足りないと感じた。具体的なイベントの説明をしていただけたほうがよりその場の雰囲気が伝わり地元の情報を届ける番組となり、イベントへ行きたいと思われる方が増えるのではないだろうかと感じた。
- ・ 西東京市や近隣の市のイベント情報は地元市民にとって嬉しいし必要な情報なのでこのような企画の番組はとても大切。これからも現地に行き臨場感を持ち伝えられる番組になるよう期待しています。

#### 局の回答

レポートは臨場感を持ちレポートをすることによって、エンターテインメントの性質・情報としての価値。この2つを両立させる事が大切だと感じている。  
狭山スキー場のウォーターフェスはロングスライダーなどの情報をお伝えし価値があると思っただけの事と、臨場感の部分を評価していただいたことが良いことなのかなと思った。  
ビューティーフェスに関しては精度を上げて魅力を伝えることが出来れば良いと思った。  
レポーターに関してはコミュニティ放送局と言うことで災害時の情報をわかりやすくみなさんに伝えなければいけないという使命もありますので、臨場感だけではなく情報部分の精度をあげてお伝えできればと思います。

現在レギュラーでレポーターが出ている番組は「わいわいクルー's」のみとなっている。生放送で街に出て情報を伝える事の重要性を感じている一方で、我々の中でもまだ十分ではない放送・コーナーになっている。現状指導をしているが、審議委員の皆様よりご意見いただきましたとおり、レポート=インタビューだけではなく、現場の様子をどう伝えるかを重要だと思っている。なかなかその技術が追いついていないというところがまだあり、レポーターが状況全体の様子を伝えず、担当者に聞く・事前の勉強・何を伝えるかの整理が甘いままにインタビュー頼りになってる部分がある。レポーターに求められているもの、伝えるべき事を再度確認・指導を行おうと思います。  
現地の方と打ち合わせが出来るかどうかは限られた時間になるのですが、だからこそ事前の取材を含め短い時間で伝えるポイントをしっかり伝えるところが重要と  
思っているのでもっとしっかりと指導していきたいと思っています。

商工会まつりに出ているレポーターはまだ学生で勉強中ということもあるが、放送に出ているからにはどんな経験や背景かは関係ない部分になるので、個性を生かし伝える事は伝えてもらわなければならないと思っています。

7. 審議機関の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日  
なし
8. 審議機関の答申または意見の概要の公表  
自社放送 事務所への備え置き、自社HPでの掲載
9. その他の参考事項  
なし